

【帯状疱疹】生ワクチンと不活化ワクチンの違いについて

	生ワクチン (ビケン)	不活化ワクチン (シングリックス)
特徴	弱毒化生ワクチン	不活化ワクチン
接種対象者	50歳以上の人 ただし、免疫抑制剤を使用しているなど、免疫が低下している人は接種不可	50歳以上の人
助成額	1人1回限り4,000円	1人1回につき10,000円 (1人2回まで)
接種方法	皮下注射	筋肉内注射
接種回数	1回	2回(2か月間を空ける。 遅くとも6か月後までに2回目)
予防効果	50~60%	90%以上
免疫持続効果	5年程度	9年程度
主な副反応	注射部位の痛み・腫れ・発赤 倦怠感など 症状は3日~1週間以内	注射部位の痛み・腫れ・発赤 倦怠感、頭痛など シングリックスの方がやや副反応が強い 症状は3日~1週間以内
利点	価格が安い 副反応が少ない	高い効果
欠点	予防効果はシングリックスに比べると劣る	2回接種する必要がある 注射部位の腫れが強い